

# AI/Eye River(アイ・リバー) について

---



北海道開発局ホームページへはこちらから。



- 北海道は全国よりも10年先行して人口減少や地域の高齢化が進み、労働者不足が大きな懸念。
- 河川維持管理分野においても、生産性向上を目指すインフラDXを推進し、高度化・効率化を図る。
- ワーキングにおいて、河川管理用CCTV、ドローン等の映像をAIで解析する技術を活用し、河川構造物点検の自動化、不法投棄対策の検討などの取組を進める。

## 河川侵食検知

災害時における河岸侵食状況を把握

## 堤防点検・樋門管内点検

AI技術を活用し、巡視・点検の高度化・効率化を実施

## ドローンを活用した河川管理

河川巡視【目視→ドローンを活用】

## 河川空間管理

適正な河川利用の推進、不法投棄の早期発見など

## ○AI/Eye River(アイ・リバー)ワーキングについて

**【構成員】 構成機関：**北海道開発局：河川管理課、機械課、札幌開発建設部河川整備保全課  
**アドバイザー：**北海道大学大学院情報科学研究院：小川准教授  
 寒地土木研究所：寒地河川チーム、水環境保全チーム、寒地機械技術チーム

○令和3年11月11日に第1回AI/Eye River(アイ・リバー)ワーキングを開催  
 ・河岸侵食検知、河川空間管理、ドローンを活用した河川管理、  
 堤防・樋門樋管点検について確認



第1回AI/Eye Riverワーキング



○令和4年3月上旬に第2回ワーキングを開催予定  
 ・課題の整理や既設CCTVカメラの仕様・映像の取得範囲、点検の評価項目を整理し、  
 令和4年度以降の取組について検討

### AI/Eye River(アイ・リバー)検討スケジュール

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
河岸侵食検知	【技術開発及び試行】 精度向上	【試験運用】 精度検証	【本運用】
河川空間管理	【技術開発】 撮影仕様の検討	【試行】 精度向上、不法投棄抑止対策の検討	【試験運用】 精度検証
ドローンを活用した河川管理	【課題抽出】	【技術開発及び試行】 AI解析システム構築、精度向上	【試験運用】 精度検証、ガイドライン作成
堤防点検・樋門管内点検	【課題抽出】	【技術開発及び試行】 撮影仕様検討 AI解析システム構築・精度向上	【試験運用】 精度検証、点検要領作成